

評価基準書

項目	評価の視点	得点	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状認識が的確で、今後の取組方針が適切なものとなっている。 	5	
まちづくり活動に係る人材育成実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 取り組んできた事業が、実施規模や回数、期間、参加者数などの客観的に計測できる点で、十分な実績があると評価できる。(インプット) ● 取り組んできた事業が、例えばメディアで紹介されるなど、社会的にインパクトを与えるものであったと評価できる。(アウトプット) ● 取り組んできた事業が、単発ではなく自律的に運営され、継続性(持続可能性)を有するものとなるよう設計されていると評価できる。 	15	
企画提案内容	受講生の募集について	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な事業告知の方法が明示され、受講生を 20 人以上集められる方策が提示できている。 ● 今後、まちづくりを担っていくべき人材(年齢・属性など)を適切に分析し、その対象に対する効果的なアプローチが計画されている。 	10
	授業について	<ul style="list-style-type: none"> ● 要件を満たす適切な講師・メンター候補者が提示できている。 ● まちづくり活動についての学びを深めることができるよう、着地点を想定した有意義なワークショップの実施方法が提示できている。 	10
	合宿イベントについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 合宿イベントの開催場所候補や実施プログラムを始め、学びを深めるためのコンテンツや目指すべき成果など、開催の様子が具体的にイメージできる詳細な計画が提示できている。 ● 「水都とくしま」の魅力向上、多様な主体との連携、シンボルゾーンでの実施など、本市の目標とするプロジェクト提案がなされるための方策が提示できている。 	10
	伴走支援について	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくり活動の経験を有する者をスタッフとして配置することやスタッフとして果たすべき役割が具体的に提示できている。 ● 受講生に提案プロジェクトを実施させるための伴走支援のあり方(基本的な考え方、実施方法、頻度など)が提示できている。 	10
	まちづくり人材等の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくり人材等が活躍できる分野やフィールド、具体的な企画・イベント等について提示できている。 ● まちづくり人材等がまちづくり活動に従事する際の支援のあり方や具体的な方法の提示できている。 	10
	独自提案	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たにまちづくり活動に参画する人材を、年度内に 20 人以上輩出するための具体的な方策が提示できている。 ● 任意に提案できる自団体の強みや企画が、魅力的なものであり、事業推進にとって有効に作用すると考えられる。 	10
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 配置スタッフの体制及び業務実績が事業実施にあたり適当である。 ● 受講生との連絡体制が適切に設計できている。 	10	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案プロジェクトを実施できる年間スケジュールとなっている。 	5	
見積金額	<ul style="list-style-type: none"> ● 見積金額が最も低い者を満点とし、提案限度額と同額を 0 点とする。 $\frac{\text{提案限度額} - \text{見積金額}}{\text{提案限度額} - \text{最低見積金額}} \times 5$ <p>※ 小数点以下は四捨五入する。</p>	5	
合計		100	

※ 最低基準点は見積金額に係る得点を除き、57 点×出席委員数とする(5 人の場合 285 点)。